

永渕ふみたか通信



佐賀市議会
自民政新会
第3号
平成28年1月4日発行
発行者／永渕 ふみたか



佐賀市11月定例会

11月定例会は、11月30日に開会し、12月17日に閉会しました。今回の補正予算審議は、制度改正に伴うもの又は緊急を要する経費など、必要最小限の補正措置を講じております。第103号議案「一般会計補正予算(第4号)」は、補正額約17億4,100万円で、補正後の予算総額は、約966億1,300万円となりました。

平成27年度11月定例会の主な内容の説明

<一般会計補正予算> ●バルーントイレ改築事業 3,000万円

来年度に開催します2016佐賀熱気球世界選手権に向けて、「バルーンのまちさが」をアピールするとともに、来場者の利便性の向上を図るため、嘉瀬川河川敷の老朽化したバルーントイレを改築する事業

●清掃工場灰溶融施設休止関連事業 △2億3,846万円

清掃工場で発生する焼却灰の処理施設である灰溶融施設を休止し、焼却灰をセメントの原料として再資源化することにより、年間約3億円の経費を削減するとともに、最終処分場の延命化と二酸化炭素排出量の削減を図る事業。今回は、清掃工場の維持管理に要する経費を減額するとともに、平成32年度までの焼却灰セメント資源化に要する経費を債務負担行為として措置

<条例議案> ●第108号議案「佐賀市立都市公園条例の一部を改正する条例」

緑化推進のため佐賀市干潟よか公園を都市公園とすることに伴い、公園内にある紅葉庵や自転車広場などの施設の使用料等を定める条例

●第112号議案「佐賀市公民館条例及び佐賀市報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例」

社会教育と地域のコミュニティ活動の推進を図るために、これらの活動を行っている施設を公民館とすることに伴い、一部のコミュニティセンターと生涯学習センターを廃止し、公民館として新たに設置するなど、これらの活動の推進に必要な整備をする条例

12月17日、各常任委員会に付託されていた議案の採決(議会としての賛成又は反対の意思を決定すること)が行われ、すべての議案が原案どおり可決または承認(賛成)されました。また、議員から提出された意見書9件については、そのうちの5件が可決されました。(可決された意見書は下記の通り)

- 国会に憲法改正の早期実現を求める意見書
- TPP「大筋合意」の情報公開と国会審議の徹底を求める意見書
- 子ども医療費助成制度の創設と国民健康保険財政調整交付金減額のペナルティの見直しを求める意見書
- 税金制度の充実を求める意見書
- ブラッドパッチ療法の保険適用及び脳脊髄液減少症の治療推進を求める意見書

一般質問 地域コミュニティカフェの推進と実現を！

質問 ①若楠校区で行われた「きてみんしゃいカフェ」の試みを把握しているか？

②中間年齢層が興味を持てるコミュニティカフェ研究講座の開催は出来ないか？

③居心地の良い居場所作りとしてコミュニティカフェを拡大する考えはないか？



答弁 ①高木団地自治公民館で今年9月から月1回、これまでに3回開催。毎回100人近くの参加者があり、地域交流の場として地域コミュニティの醸成に役立っていると聞いている。

②生涯学習講座や公民館で様々な講座を実施している。人が出会い楽しむことが出来る講座は重要であり、公民館長や主事に、コミュニティカフェを検討するよう提案したいと思う。

③各校区の地域性や主体性を尊重しながら新しい居場所づくりにつながる講座の開催や情報提供を積極的に行っていこうと考えている。

ここがポイント！ さて、市民の皆様は、コミュニティカフェという試みが今、地域の繋がりを考える上で、注目されているのをご存知でしょうか？私の住んでいる佐賀市若楠の高木団地という単位自治会の自治会館にて、この秋より、

きてみんしゃいカフェという試みが始まりました。私も、興味があるので、見学に行ってまいりました。

このきてみんしゃいカフェ、障がい者の就労を支援するNPO法人の運営で、障がい者の皆様が、コーヒーなどを提供する飲食などの販売スタッフの一員として接客サービスを行ない、そこに、家に閉じこもりがちな独居老人などが、なじみの喫茶店にくつろぎに行く感覚で訪ねてきます。その居心地の良さは、昔で言う、茶の間や縁側でくつろぐ感じに似ています。この試み、障がい者の社会参加、高齢者の気軽な出会いの演出。また喫茶店を模倣したカフェスタイルということで、子育て中のママの交流の場にもなっていました。私は、参加してみて、このコミュニティカフェスタイルは、地域コミュニティの救世主になりえるのではないかと感じた次第です。そこで、議会にて、佐賀市は、この試みを把握されているのか？また、この試みにどのような認識を持っているのか、聞いてみました。佐賀市も、大変多くの方々が、お越しになったことに対して、驚きと、関心を抱いていらっしゃるようでした。地域コミュニティの推進をするにあたって、カフェスタイルの方が、気軽に集まることができるのではないかなど私は考えます。他県先進地では、コミュニティカフェガイドブックなるものもあるんですよ。すごいですね。このような馴染みやすいスタイルの浸透は、地域コミュニティの新たな人材の確保にも繋がっていくかもしれませんね。佐賀市は、生涯学習の場でもある公民館で(コミュニティカフェ)研究講座などの開催を働きかけたいともおっしゃっていました。これから高齢化社会、人々を孤立させない試みを取り入れて行く必要性があります。アメリカの都市経済学者リチャード・フローリダさんは、「人の創造性は居心地の良い場所を求める」と言っています。

今後、カフェスタイルを始めとする居心地の良い場所作りが、佐賀市でも拡大していくから嬉しいです。



永渕ふみたか 新しい二年の始まりです !! 10月臨時会にて、これから二年間の所属先が決まりました。

●文教福祉委員会

●佐賀中部広域連合議会

●議会広報広聴委員会

●都市計画審議会

●議会運営等改革検討会

10月より新しい会派に所属することにしました。

会派名は、「自民政新会」と言います。所属先に悩みましたが、こちらの会派の仲間の皆様の、「佐賀市議会の政治と一緒に、新しくしよう！」という言葉に惹かれました。家に帰り、妻に告げると、「政治を新しくして行こうというところが、あなたに似合っているんじゃない。頑張ってね」と声を掛けてくれました。少ない人数ではありますが、勉強になる先輩が沢山いらっしゃるので、自分なりに、議会人としての修行をここから二年間また続けて行こうと思います。よろしくお願い致します。

【自民政新会所属メンバー(7人)】

川原田 裕明(代表)、重田 音彦(副代表)、福井 章司、堤 正之、武藤 恭博、川崎 直幸、永渕 史孝

編集後記

一般質問にて、11月議会、コミュニティ推進の質問の他に、提案質問したのは、佐賀市への映画ロケ誘致。佐賀市で行われた映画、男はつらいよ(山田洋次監督作品)の映画ロケは、1989年3月に講演で古湯温泉に宿泊していた山田洋次監督に、地元の小学生が「寅さん、ぼくらの町はダムの底に沈みます。ダムができる前にぜひ映画撮影に来てください」としたためた手紙が、きっかけのひとつでした。また、佐賀市でロケが行われた映画、水の旅人(大林宣彦監督作品)は、古湯映画祭に来た大林宣彦監督が、佐賀のおばあちゃんたちが眼を輝かせてスクリーンを見つめている姿が忘れられなかったということで、佐賀市で映画を撮影するとお決めになったそうです。どちらの映画公開も、もう20年以上前の出来事となってしまいました。

また、佐賀市民一丸となって佐賀市に、映画のロケの誘致が出来ればと私は考えています。今回の質問で、佐賀市より映画撮影の誘致に対する前向きな御答弁をいただけました。今後の佐賀市での映画ロケの誘致にむけての具体的な試みを期待したいものです。さて、次回定例会は、2月29日(月)開会です。それではまた…。

永渕ふみたか

〒849-0928 佐賀県佐賀市若楠3丁目3-23

**TEL.0952-38-2323
FAX.0952-33-5176**

お
相
談
く
だ
さい。



プロフィール

- 昭和51年8月19日生まれ(39歳)
- 平成25年10月佐賀市議選挙初当選(1期目)
- 文教福祉委員会 所属
- 議会広報広聴委員会 所属
- 議会運営等改革検討会 所属
- 佐賀中部広域連合議会 所属
- 都市計画審議会 所属
- 若楠校区地域子ども教室会長
- 若楠校区子ども会会长

『永渕ふみたかホームページ』もご覧ください。

↑ <http://nagafuchi-fumitaka.com/>

↑ <https://www.facebook.com/nagafuchifumitaka/>

表面もご覧ください。